

# 子どもが主体的に遊ぶ意義



## 家族とともにできること

### 5. 幼児期にふさわしい生活と教育とは？

# 目覚まし時計は脳にある

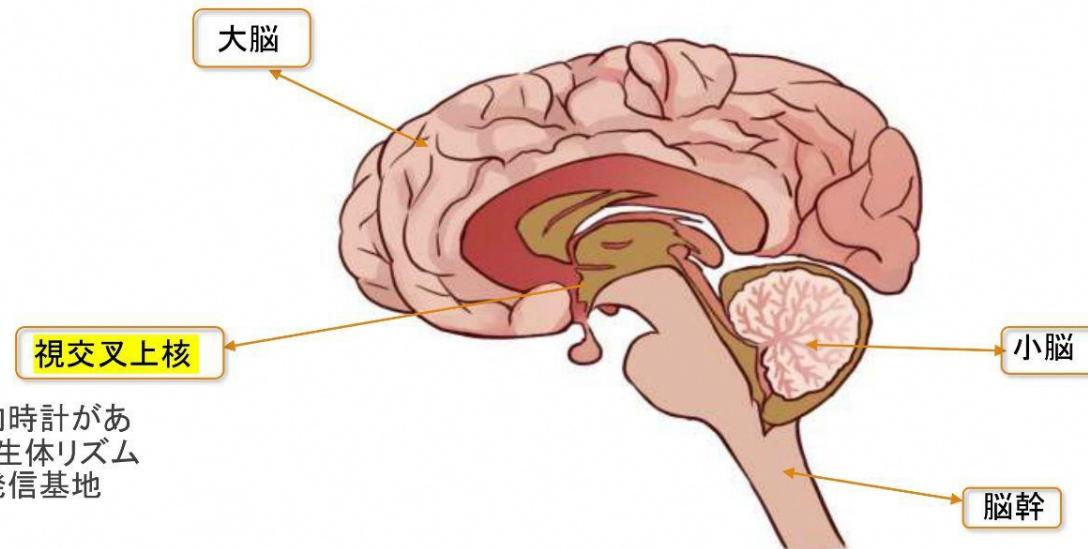


図10 脳の構造

# 感じること、気づくこと



# 保育の中で・・



# 知りたい！が生み出す学びへの力



# 家族で体験のススメ・・・自然体験を通して親も子も変わっていく

子どもたちの絵の変化による評価：国立若狭青少年支援の家の報告書より



滑らかな水面  
生き物や船などが描かれている  
靴を履いている  
描かれている人は2、3人  
海を見ている、海に入っていない人



波がある海  
人(わたし)も描かれている  
裸足になっている  
複数の人が描かれている  
海の中、波の向こうにいる人



自然は客体・対象  
自分と自然は違う  
自然は見るもの



自然の中にいる  
自分も自然の一部

自然に対する認識の変化  
自然との関わり方の変化

実施前

実施後

# あなたが健康で過ごすために・・

大正元年(1912) 村の鍛冶屋

作詞・作曲者不詳

1  
しばしもやすまづ つら打ひびき 飞び散る火花よ はしる湯玉 ふいごの風さえ 息をもつかず  
2  
あるじは名高い いとこくものよ 早い起き早寝の やまい知らず 仕事に精出す 村のかじ屋 打ち出す刃物に 自慢の腕で 心こもる

大正元年「尋常小学唱歌」に掲載。

昭和52年には文部省の小学校学習指導要領の共通教材から削除され、以後、音楽の教科書から消え始め、昭和60年にはすべての教科書から完全に消滅しました。また文言も途中何度か改編されています。